

学校主題研修

- (1) 努力点
- ア 学校主題研究に関する計画・立案・推進に努める。
- イ 職員研修に関する計画・調整に努める。
- ウ 職員相互研修の計画・調整に努める。
- エ 他学部体験研修の計画・調整に努める。
- オ 授業力向上プログラムの推進に努める。
- (2) 研究主題
- 病弱・肢体不自由のある子どもたちの
コミュニケーション力向上を目指した自立活動の指導・支援の充実
～様々なツール等を活用して子どもたちの動作・発信を引き出すための取組～（3年目）
- (3) 研究仮説
- 児童生徒一人一人の実態に応じて、職員間で多様な視点から意見交換や情報共有を行いながら授業実践を行っていくことによって、児童生徒の様々な反応や動き・受動的コミュニケーション等を動作や発信につなげ、コミュニケーション力の育成につなげることができるのではないか。
- (4) 研究内容
- 学習指導要領や「特別支援学校における授業づくりのスタンダード」を基に、「かじとく三つの柱」や個々の「一年間につけたい力」、「個別の指導計画」の確認を行い、実態や教育的ニーズを踏まえながら、様々な反応や動き・受動的コミュニケーション等から動作や発信につなげていけるような指導・支援法を検証する。
- (5) 研究方法
- ア 1年目・2年目の研究等を参考にしながら、実態や発達段階を考慮して、同学部内の児童生徒4～6人程度、職員5～7人程度のグループ編成を検討する。児童生徒の実態等を共有した後、研究対象の児童生徒を検討し、決定する。
- イ 研究対象児童生徒についてのより細かな実態の共有を行う。第1回検証の計画を考える。実践の実施日などを検討し、実践する。（Plan、Do）
- ウ 第1回検証の評価・改善について、意見交換を行う。（Check、Action）
- エ イ、ウをもう1度行う。
- オ 研究報告書にまとめ、全体報告会で報告し、共有する。

(6) 研究計画

時 期	形 態	研 究 内 容
4月28日（火）	全体	今年度の主題研究について
5月14日（木）	グループ	グループの職員同士で顔合わせ・構想を練っている児童生徒の実態等の共有・研究対象児童生徒の決定
5月21日（木）	グループ	研究対象児童生徒の実態の共有（諸検査結果等を活用）。〈1回目の検証〉指導・支援内容の話し合い（Plan）
5月25日（月）～7月10日（金）〈1回目の検証〉実践（Do）		
7月17日（金）	グループ	〈1回目の検証〉評価・改善策の話し合い（Check、Action）
8月31日（月）	グループ	〈2回目の検証〉指導・支援内容の話し合い（Plan）
9月7日（月）～11月20日（金）〈2回目の検証〉実践（Do）		
11月26日（木）	グループ	〈2回目の検証〉評価・改善策の話し合い（Check、Action）
12月 3日（木）	グループ	研究報告書の作成
12月17日（木）	全体	全体報告会
1月28日（木）	全体	研究のまとめ
3月11日（木）	全体	次年度の主題研究について

(7) これまでの主題研究

年 度	研 究 主 題
令和4年度～ 令和5年度	教科との関連性を踏まえた「各教科等を合わせた指導」の指導計画づくり ～学部・課程の系統性を大切に授業を目指して～
令和6年度～ 令和7年度	病弱・肢体不自由のある子どもたちの コミュニケーション力向上を目指した自立活動の指導・支援の充実 ～様々なツール等を活用して子どもたちの動作・発信を引き出すための取組～